

2026 年 4 月 14 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

アミロイド PET の定量値に解析自動化が及ぼす影響の検討

研究の概要

【背景】アルツハイマー型認知症の治療薬として利用されているレカネマブおよびドナネマブは治療開始前にアミロイド PET 等の方法により脳にアミロイドが沈着していることを証明する必要があります。アミロイド PET は現在訓練された読影医による視覚的診断での判定が行われていますが、センチロイドスケールや SUVr と呼ばれる定量的な指標も提唱されており、これが臨床診断における判定に利用できれば、評価をより客観的に出来る可能性があります。ただし、センチロイドスケールや SUVr の計算には高度なソフトウェア解析が必要とされています。現在ソフトウェア解析は一部自動化されていますが、医師の手で補正を行うことが必要とされています。

【目的】センチロイドスケールおよび SUVr が一部自動化と完全自動化のあいだでどのように異なるかを検討する

【意義】センチロイドスケールおよび SUVr の一部自動化と完全自動化の間に大きな違いが無いことが証明できれば、検査の簡便化が可能となります。

【方法】医療法人祥仁会 西諫早病院において、レカネマブおよびドナネマブの投薬適否決定目的でアミロイド PET が行われた患者さんを対象とします。
アミロイド PET の画像を一部自動化と完全自動化の2つの方法で解析し、得られたセンチロイドスケールおよび SUVr の値を比較して違いを検討します。
現在、センチロイドスケールおよび SUVr は、アミロイド PET の画像判定には利用されていないため、この検討による判定への影響はありません。

対象となる患者さん

医療法人祥仁会 西諫早病院において保険診療としてアミロイド PET が行われた全ての患者さん（2024 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで）

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

- ・患者背景：性別、年齢
- ・アミロイド PET：センチロイドスケール、SUVr（前頭葉・後部帯状回/楔前部、側頭葉、頭頂葉、線条体、後頭葉）

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日	
本研究は 2026 年 6 月 11 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。 あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028 年 3 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断 治療学分野（長崎大学病院 PET 分子イメージングセンター） 氏名：工藤 崇 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-12-4 電話：095（819）7101
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学分野 工藤 崇 〒852-8523 長崎市坂本 1 丁目 12 番 4 号 電話：095（819）7101 FAX 095（819）7104	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	